

## Doctor's Data 社 Cardiovascular Risk Profile, Oxidized LDL

### 検体作成手順

#### 検査を始める前に:

説明書をしっかり読み、検体採取手続きをよく理解してください。

この検査は1度の採血を夜間絶食後(最低6時間)の朝食前に行う必要があります。絶食なしの採血は検査結果に偏りを生じさせる可能性があります。

この検査は医師からの指示がない限りは特別な食事を必要としません。処方薬の摂取については、担当の医師への相談なく服用を中断しないでください。

採血に当たる看護師の方々へ: 溶血した血清は検査には使用できません。

#### 検査キットの中身:

赤いふたの血清用採血チューブ .....	1 個
キャップ付きの 8mL の血清トランスファーバイアル.....	1 個
プラスチック製のトランスファーピペット.....	1 個
ジップロックバッグと吸収性のパッド.....	1 枚ずつ
保冷剤.....	1 個
保冷袋.....	1 個
検査申込書.....	1 枚
検体作成手順(本用紙).....	1 部

#### その他、キットと別に(検体の発送にかかわるもの)

FedEx 送り状(Air Waybill) .....	1 枚
インボイス(CUSTOMS INVOICE) .....	3 枚
FedEx 検体発送方法 .....	1 枚
FedEx UN3373 Pak.....	1 枚 (検体発送時のビニール製封筒です)

キットの中身が不足している場合はデトックスまでご連絡下さい。

株式会社デトックス (Detox Co., Ltd.)

Tel: 03-5876-4511, Fax: 03-3222-5770, Email: askkensa@detox.jp

キットの外箱は検体を米国ラボに郵送する際に使用しますので、破棄しないでください。

### 検体作成手順(夜間絶食後の朝の採血を推奨)

1. 採血チューブと血清トランスファーバイアルに患者名、生年月日、検体採取日を記入します(英語表記)。**バイアルに患者の情報が正しく記入されていない場合、検査は行われません。**
2. 赤いふたの血清用採血チューブに採血をします。
3. チューブを最低 15 分垂直にしたままにしておき、血液を凝固させます。
4. 採血から 2 時間以内に、赤いふたの血清用採血チューブを 15 分間遠心分離機にかけます。
5. 遠心分離後、トランスファーピペットを使って、分離させた血清(上層部)を 8mL の血清トランスファーバイアルに移します。最低 2mL が分析に必要です。
6. 赤いふたの採血チューブとトランスファーピペットは破棄してください。
7. 血清トランスファーバイアルと保冷剤を吸収性のパッドの入っているジップロックバッグに入れて密閉し、最低 6 時間冷凍庫に入れます。
8. 最低 6 時間の冷凍後、血清トランスファーバイアルと保冷剤入りのジップロックバッグを取り出し、保冷袋に入れて密閉します。その保冷袋を発送用のキットの外箱に入れます。
9. 検査申込書を完全に記入し、担当医の署名があることを確認してください。**正しく申込書が記入されていない場合、検査は行われません。**正しく記入した申込書はキットの外箱に入れてください。血清検体と保冷剤入りのジップロックバッグを入れた保冷袋、そして検査申込書を入れたキットの外箱を検体発送用 FedEx UN3373 Pak に入れ封をします。以上をもって検体の発送準備が整います。  
「FedEx 検体発送方法」をご覧ください。

最良の検査結果を得るためにも、できる限り早い検体の発送を推奨します。週末や祝日など、採取日に発送が出来ない場合は、発送の準備が整うまで血清トランスファーバイアル及び保冷剤は冷凍してください。